

逗子市議会議員

さぎさか ゆうじ 活動レポート Vol.14

～無所属で活動中～



■さぎさか ゆうじ(勾坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 44歳 逗子市沼間1-8-2

沼間小学校卒業・逗子中学校卒業・私立横浜商工高等学校卒業(有) 勾坂豊店入社
07年逗子市商工会青年部部长・08,09年沼間小PTA会長、08年逗子市PTA連絡協議会会長・神奈川県PTA協議会常任理事・10年(社)逗子葉山青年会議所理事長
家族構成: 妻と長女(高校1年) 次女(小学4年) 長男(小学2年) 2010年3月に行われた、市議会議員選挙にて初当選 議会報編集委員長、基地対策特別委員長
現在、2期目 総務常任委員会委員長、都市計画審議会委員 所属会派 市政クラブ

26年度第1回定例会報告

第1回定例会が2月4日～26日に行われました。

今回の定例会では、26年度一般会計予算・4特別会計予算をはじめ、平成25年度の一般会計・4特別会計補正予算が提出され、すべて可決承認されました。主な議案では、安全で快適な逗子海水浴場の確保に関する条例の全部改正(可決)、常勤特別職職員の給料の特例に関する条例の制定(可決)、情報公開条例の一部改正(可決)、市立図書館条例の全部改正(否決)、文化プラザ市民交流センター条例の全部改正(否決) 議員提出議案では、逗子市議会基本条例の制定(可決)、逗子市議会政治倫理条例の制定(可決)が審議されました。継続審査中であった、「建築物の敷地面積の最低限度の導入について見直しを求める陳情」については、総務常任委員会で、了承とされました。この定例会では、市長から平成26年度の施政方針及び予算提案説明を受け、8会派8人、無会派1人の議員が代表質問・質問を行いました。私も会派「市政クラブ」を代表として、代表質問で登壇しました。

【厳しい財政運営が続く見通し】

長期財政見通しでは、人口減少と高齢化の進展とともに、市税収入は、平成26年度約94億円から平成36年度には、約86億円へ低下していく推計になっています。人件費は、約2億円減少となるものの扶助費は、約8億円の増額になります。このことにより、10年後には、約14億円予算が更に必要となります。限られた予算の中で、いかに住民サービスを上げていくのか課題であります。逗子市は、住民税が主な財源のため、逗子の魅力を更に高め、人口減少を抑制する施策が重要と考えます。

一般会計の財源内訳

(単位:千円)

財源別	平成26年度		平成25年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減	伸率
市税	9,434,001	50.9%	9,376,001	48.1%	58,000	0.6%
国県支出金	3,207,358	17.3%	3,220,509	16.5%	△ 13,151	△ 0.4%
地方特例交付金	38,000	0.2%	42,000	0.2%	△ 4,000	△ 9.5%
地方交付税	1,270,000	6.8%	1,320,000	6.8%	△ 5,000	△ 3.8%
繰入金	456,800	2.5%	391,000	2.0%	65,800	16.8%
市債	1,720,200	9.3%	2,914,300	15.0%	△ 1,194,100	△ 41.0%
その他	2,416,641	13.0%	2,223,050	11.4%	193,591	8.7%
合計	18,543,000	100.0%	19,486,860	100.0%	△ 943,860	△ 4.8%

小児医療費助成 小3まで拡充

子育て支援で市民ニーズが高い、小児医療費助成が、7月から小3までになります。県内では、7市町村が対象広げています。中3まで9自治体、小6まで12自治体もあり、「子育てしたいまち」を目指している本市は小6まで拡充すべきと考えます。

県内自治体の状況 (2014年度予算案から)

	対 象	所得制限なし
逗子市	小3まで	0才まで
鎌倉市	小6まで	就学前まで
三浦市	小4まで	小4まで
葉山町	小6まで	就学前まで
藤沢市	小6まで	小6まで
厚木市	中3まで	中3まで

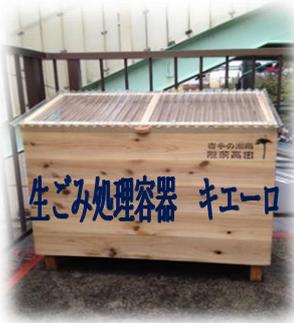
待機児童解消に向けて 民間保育所の誘致

保育所の待機児童が、平成20年度以降年々増加し、近年公表値で最大39名(H24.10月)まで至りました。この数値の他に、保育園を指定する等に計上されなかった児童も多数おり、保育所の入所ニーズはとて高いものとなっています。子育て世代が住みやすいまちの実現には、保育所の整備が喫緊の課題であります。26年度予算で、本市の公有地を無償貸付し、認可保育所の誘致する関係予算が提案されました。28年の開園を予定。



ごみの減量化・資源化の推進を

一般廃棄物処理基本計画に掲げた26年度の資源化率目標44%と最終処分量84%削減の達成を目指しています。昨年10月に逗子市商工会と陸前高田との連携による家庭用生ごみ処理容器の普及開始とエコ広場ずしの拡大、剪定枝資源化の促進など、ごみの減量化の体制強化が進んでいます。生ごみ処理容器の助成件数は、大幅な伸びを実現しています。ごみ減量化のご協力をお願い致します。



心豊かに暮らせる健康長寿のまちへ

今年の夏には、本市の高齢化率は約30%に達すると予測されています。元気なシニアの方々を増やし、いかに地域力となつていただけるかが、重要な鍵と考えます。健康に関する取り組みを強化するための健康増進計画を26年度中に策定します。市民アンケートを実施し、課題を抽出、懇話会の中で、「市民が主体の健康づくり」・「地域で進める健康づくり」・「関係機関、団体との連携強化」の3つの柱で検討を進めていきます。27年度からの実施想定。



皆様の声を聞かせて下さい。市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

	御名前
	御住所
	連絡先

送り先FAX 046-871-3552 TEL 046-871-3526 e-mail: sagisaka@plum.ocn.ne.jp

発行責任者: 匂坂祐二(さぎさかゆうじ) ポスティング ボランティアを募集しています。御協力お願い致します。